

6年生 社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」

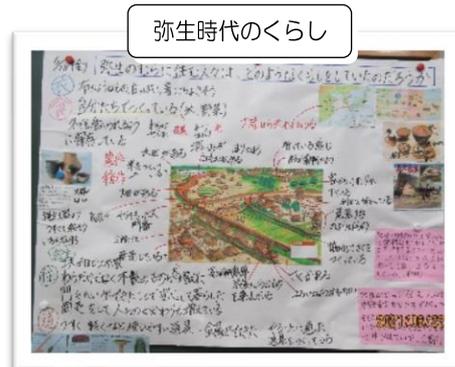
目指す児童の姿

- ・目標の達成に向けて、他者と協議しながら、主体的に取り組む子
- ・自己の成長や学びを客観的に振り返り、それを生かして自らの意思で学び続ける子

《今回の学習内容》

今回は、縄文時代と弥生時代の想像図を比べて何がどのように変わっているのかを問い、狩猟・採集の生活から農耕の生活への変化に着目し学習問題をつくります。

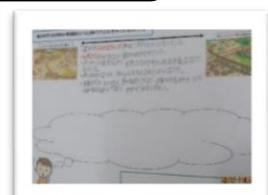
- 1 まず、前の時間に行った、縄文や弥生のむらに住む人々はどうのよう暮らしをしていたのかを振り返りました。



- 2 今日は縄文時代、弥生時代の暮らし（想像図）を比べて、それぞれの生活の様子について2つの資料から考えます。



自給自足の生活から商いをするようになりました。



- 3 次に、2つの時代を比べて分かったことや考えたことを話し合いました。ルーズとアップの資料の隅々までよく見て、それぞれの時代の暮らしかたの違いについて考えることができました。



弥生時代になると掘や塀ができてるのはなぜだろう？

弥生時代になると米づくりをしている。



- 4 最後に、学級全体で、話し合った疑問の共有を行いました。資料を比べる中で出てきた疑問から稲作に注目し、「稲作が始まることで、人々の生活はどのように変わったのか」という学習問題を作ることができました。

縄文と弥生の暮らしの違いについて、不思議に思ったことはありませんか？

